

大会名	平成29年度北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会								
	男子3位決定戦								
28B4	2018	年	1	月	28	日	14	:	00
場所	津幡町運動公園体育館								



北信越バスケットボール協会

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

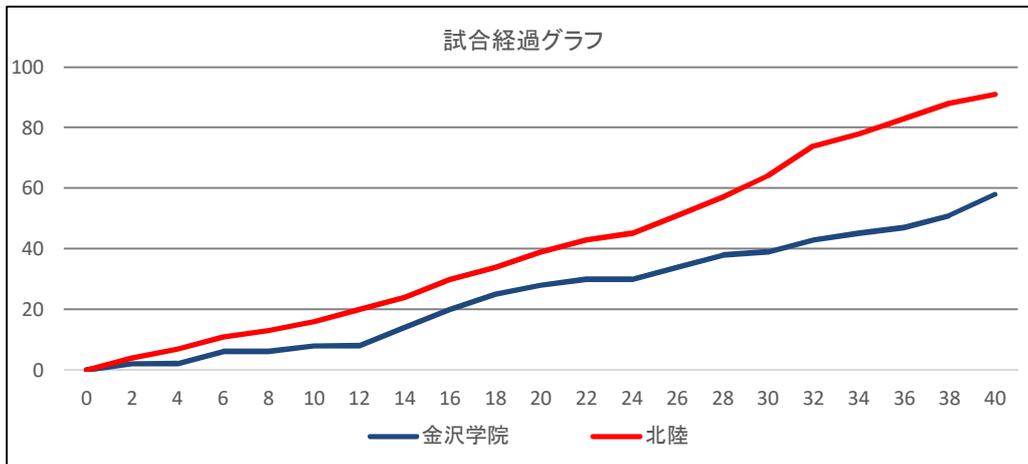
チームA		チームB
金沢学院	8 1st 16	北陸
	20 2nd 23	
石川県1位	11 3rd 25	91
●	19 4th 27	○ 福井県1位
	OT	

主審:Referee
山本 達也 富山県
第1副審:Umpire1
鈴木 誠 長野県
第2副審:Umpire2
菊地 大輔 新潟県
テーブルオフィシャル:Table officials
津幡高等学校

TEAM A		金沢学院						
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF	
4		安 廣 優 哉	0					
5	*	請 田 祐 哉	11	0	5	1	1	
6	*	加 藤 碧 透	4	0	2	0	4	
7		上 浜 烈 吏	2	0	1	0	4	
8	*	高 木 健 正	10	0	4	2	2	
9	*	番 場 望	0	0	0	0	1	
10	*	小 林 翔	10	0	4	2	1	
11		浦 辺 亮 泰	11	1	4	0	1	
12		片 桐 楓 太	0					
13		小 酒 尚 也	0					
14		和 多 智 樹	0	0	0	0	0	
15		西 田 尚 之	0					
16		相 馬 憲 吾	10	0	3	4	2	
17		平 澤 舞 斗	0					
18		青 山 大 空	0					
HC		石 過 祐 樹	-	-	-	-	0	
合 計			58	1	23	9	16	

TEAM B		北陸						
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF	
4	*	高 島 紳 司	23	0	10	3	1	
5		油 谷 倅 汰	0	0	0	0	0	
6	*	勝 部 珠 莉 輝	17	0	8	1	1	
7	*	若 月 遼	10	2	2	0	3	
8		岩 下 大 資	7	1	1	2	3	
9		坂 本 優 斗	11	1	3	2	1	
10	*	ダンテ スレイマニ	4	0	1	2	3	
11	*	高 山 達 希	0	0	0	0	4	
12		勝 木 蓮	7	1	1	2	3	
13		祐 村 健 多	4	0	1	2	0	
14		砂 川 遥 斗	8	2	1	0	3	
15		高 橋 颯 太	0	0	0	0	0	
16		伊 藤 瑠 偉	0	0	0	0	0	
17		長 谷 川 哲 也	0					
18		山 岡 純 也	0	0	0	0	0	
HC		久 井 茂 稔	-	-	-	-	0	
合 計			91	7	28	14	22	

s : スタートメンバー PTS : 得点 3P FG : 3P イントシュート 2P FG : 2P イントシュート FT : フリースロー PF : パーソナルファウル



男子3位決定戦は石川県1位の金沢学院高校と福井県1位の北陸高校との対戦となった。

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでのスタート。北陸は激しいディフェンスから#4高島、#6勝部を中心に得点を積み重ねる。対する金沢学院は#5請田、#10小林のドライブからの合わせによるシュートを試みるが、なかなかシュートが決まらない。残り2分、北陸は#4高島のバスケットカウントが決まり8-16で北陸高校がリードして第1Q終了。

第2Q、金沢学院#16相馬の1on1からの得点、#6加藤の連続得点でリズムに乗るが、#8高木が#7上浜と交代しサイズダウンした所を北陸の#10ダンテにゴール下を攻められる。しかし、#10ダンテがオフェンスファウルを取られ、個人ファウル3つ目となり#9坂本と交代。その後は互いに譲らずゴール下シュートを決めあう展開となり、28-39と北陸が11点リードで前半終了。

第3Q、北陸は#4高島の1on1、#7若月の連続3Pシュートが決まり、リズムのいいオフェンスから得点を伸ばす。対する金沢学院は相手のディフェンスに苦しみ、なかなかリズムが作れずに39-64と北陸25点リードで第3Qを終了。

第4Qのスタートは両チームベンチメンバー中心のラインナップとなる。金沢学院は#11浦辺が高確率でジャンプシュートを沈めていく。対する北陸は#14砂川、#12勝木の3Pシュート、#10ダンテのゴール下のシュートなどバランスよくシュートを決めていき、58-91で勝ち切って北信越新人大会を3位で終えた。本県代表の金沢学院は健闘及ばなかったが、要所に光るプレーを見せて会場を盛り上げた。